

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 ヤマト・インダストリー株式会社
 コード番号 7886 URL <http://www.yamato-in.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 宣頼

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部統括 (氏名) 茂木 久男

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

TEL 03-3834-3111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	6,838	3.6	86	322.5	63	—	△11	—
26年3月期第2四半期	6,597	1.8	20	△21.5	△3	—	△3	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △82百万円 (—%) 26年3月期第2四半期 111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△1.13	—
26年3月期第2四半期	△0.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	6,438	1,978	30.7	196.89
26年3月期	6,609	1,985	30.0	197.56

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 1,978百万円 26年3月期 1,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 平成27年3月期の配当予想については、未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△5.6	130	△21.3	100	△7.5	60	—	5.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	10,171,797 株	26年3月期	10,171,797 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	121,051 株	26年3月期	121,051 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	10,050,746 株	26年3月期2Q	10,051,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ地域紛争や新興国経済の成長鈍化など国際経済のリスク要因を抱えつつも、政府による経済政策や日銀による金融緩和策を背景に企業収益が改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しております。しかしながら、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による物価上昇の影響を受け個人消費の落ち込みが見られ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、既存事業の見直し、新規事業開拓を行い売上拡大に努め、協力会社との事業提携の強化、品質管理強化に努めてまいりました。

その結果、売上高は68億38百万円（前年同四半期65億97百万円）、営業利益86百万円（前年同四半期20百万円）、経常利益63百万円（前年同四半期3百万円の損失）となり、固定資産除却損や投資有価証券評価損等の特別損失が発生したことにより、四半期純損失は11百万円（前年同四半期3百万円の損失）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

(合成樹脂成形関連事業)

国内においては、拡販に努め売上高は伸長したものの利益率が低下したため経費削減に取り組んでまいりました。海外において、主力取扱い商品であるOA機器部品の受注が減少し売上高は前年同四半期を下回りましたが、原価低減、経費削減に努めてまいりました。

その結果、売上高は60億13百万円（前年同四半期60億20百万円）、営業利益は1億19百万円（前年同四半期66百万円の利益）となりました。

(物流機器関連事業)

競合他社との価格競争が続く中、拡販に努め前年同四半期に比べ売上高は8億24百万円（前年同四半期5億76百万円）と増収となりましたが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や円安による原価高により、営業損失は33百万円（前年同四半期46百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

資産合計は64億38百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億71百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が1億62百万円増加、受取手形及び売掛金が4億16百万円減少、商品及び製品、仕掛品等のたな卸資産が10百万円減少、機械装置及び運搬具が43百万円減少、建設仮勘定が90百万円増加、投資有価証券が17百万円減少したことによるものです。

(負債)

負債合計は44億59百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億64百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億38百万円減少、短期借入金が1億82百万円増加、長期借入金が1億44百万円減少したことによるものです。

(純資産)

純資産合計は19億78百万円となり、前連結会計年度末と比べ6百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の増加62百万円、為替換算調整勘定の減少82百万円によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュフロー)

営業活動の結果得られた資金は、2億80百万円（前年同四半期に営業活動の結果得られた資金は、80百万円）となりました。これは主に、売上債権・仕入債務・たな卸資産の増減、その他で1億47百万円の資金増加等の影響によるものです。

(投資活動によるキャッシュフロー)

投資活動の結果支出した資金は、1億46百万円（前年同四半期に投資活動の結果得られた資金は、1億85百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュフロー)

財務活動の結果得られた資金は、38百万円（前年同四半期に財務活動の結果支出した資金は、3億95百万円）となりました。これは主に、長期借入金の返済、短期借入金の増加によるものです。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から1億64百万円増加し、11億76百万円となりました。

③ 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

④ 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日公表の「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ」において、平成27年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値の差異を開示しております。また、通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が74,275千円減少し、利益剰余金が74,275千円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3,820千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,014,528	1,177,344
受取手形及び売掛金	2,707,736	2,291,028
商品及び製品	448,816	456,679
仕掛品	183,638	197,836
原材料及び貯蔵品	278,513	245,855
その他	272,797	351,098
貸倒引当金	△964	△709
流動資産合計	4,905,067	4,719,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	278,634	272,707
機械装置及び運搬具(純額)	422,615	379,348
土地	660,642	660,642
リース資産(純額)	23,115	43,858
建設仮勘定	29,550	120,329
その他(純額)	79,015	55,157
有形固定資産合計	1,493,573	1,532,042
無形固定資産		
その他	22,138	18,934
無形固定資産合計	22,138	18,934
投資その他の資産		
投資有価証券	64,926	47,634
その他	129,462	126,284
貸倒引当金	△5,364	△5,364
投資その他の資産合計	189,024	168,554
固定資産合計	1,704,736	1,719,531
資産合計	6,609,803	6,438,665
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,226,553	2,087,557
短期借入金	594,393	776,442
未払法人税等	18,130	13,622
その他	412,743	411,619
流動負債合計	3,251,820	3,289,242
固定負債		
長期借入金	1,140,486	995,765
退職給付に係る負債	185,465	108,047
その他	46,341	66,675
固定負債合計	1,372,292	1,170,488
負債合計	4,624,113	4,459,730
純資産の部		
株主資本		
資本金	927,623	927,623
資本剰余金	785,172	785,172
利益剰余金	125,443	188,314
自己株式	△22,653	△22,653

株主資本合計	1,815,586	1,878,457
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,080	3,303
繰延ヘッジ損益	△68	10,482
為替換算調整勘定	206,001	123,166
退職給付に係る調整累計額	△37,908	△36,474
その他の包括利益累計額合計	170,104	100,477
純資産合計	1,985,690	1,978,934
負債純資産合計	6,609,803	6,438,665

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	6,597,881	6,838,339
売上原価	5,820,302	6,018,752
売上総利益	777,578	819,587
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	198,939	210,956
給料及び賞与	228,434	224,863
退職給付費用	24,691	12,339
貸倒引当金戻入額(△)	△45	△255
その他	305,117	285,310
販売費及び一般管理費合計	757,137	733,214
営業利益	20,441	86,372
営業外収益		
受取利息	286	373
受取配当金	213	246
受取賃貸料	982	1,173
その他	4,378	5,993
営業外収益合計	5,860	7,786
営業外費用		
支払利息	21,346	21,321
為替差損	2,764	3,175
その他	5,275	6,322
営業外費用合計	29,386	30,819
経常利益又は経常損失(△)	△3,084	63,339
特別利益		
固定資産売却益	29,749	-
特別利益合計	29,749	-
特別損失		
固定資産処分損	26	22,155
投資有価証券評価損	-	19,590
事業構造改善費用	1,064	-
特別損失合計	1,090	41,745
税金等調整前四半期純利益	25,574	21,594
法人税等	28,639	32,998
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,065	△11,403
四半期純損失(△)	△3,065	△11,403

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△3,065	△11,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	208	1,222
繰延ヘッジ損益	△935	10,551
為替換算調整勘定	115,495	△82,834
退職給付に係る調整額	-	1,433
その他の包括利益合計	114,768	△69,626
四半期包括利益	111,703	△81,030
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,703	△81,030

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,574	21,594
減価償却費	69,585	75,246
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,954	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△1,709
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△238	△255
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,210	-
受取利息及び受取配当金	△500	△620
支払利息	21,346	21,321
為替差損益(△は益)	6,208	△661
固定資産処分損益(△は益)	26	22,155
固定資産売却損益(△は益)	△29,749	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	19,590
事業構造改善費用	1,064	-
売上債権の増減額(△は増加)	409,185	460,639
たな卸資産の増減額(△は増加)	10,877	△19,954
仕入債務の増減額(△は減少)	△318,571	△227,783
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,901	27,715
その他	△78,747	△64,982
小計	131,127	332,296
利息及び配当金の受取額	500	620
利息の支払額	△23,522	△21,778
法人税等の支払額	△31,213	△30,567
法人税等の還付額	5,108	85
事業構造改善費用の支払額	△1,064	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,936	280,654
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,100	△2,100
定期預金の払戻による収入	4,200	4,200
投資有価証券の取得による支出	△535	△543
有形固定資産の取得による支出	△79,016	△145,227
有形固定資産の売却による収入	263,281	△3,457
投資その他の資産の増減額(△は増加)	3,020	-
貸付けによる支出	△3,000	-
貸付金の回収による収入	596	559
その他	△1,007	302
投資活動によるキャッシュ・フロー	185,439	△146,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△19,716	179,710
長期借入金の返済による支出	△417,890	△165,604
長期借入れによる収入	50,000	30,000
自己株式の取得による支出	△91	-
リース債務の返済による支出	△7,316	△5,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△395,013	38,545
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,404	△8,017
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△91,233	164,916
現金及び現金同等物の期首残高	1,035,368	1,011,378
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	11,264	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	955,398	1,176,294

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,020,899	576,982	6,597,881	—	6,597,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32,692	170	32,862	△32,862	—
計	6,053,591	577,152	6,630,744	△32,862	6,597,881
セグメント利益又は セグメント損失(△)	66,649	△46,208	20,441	—	20,441

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	合成樹脂成形 関連事業	物流機器 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,013,802	824,537	6,838,339	—	6,838,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30,282	22	30,304	△30,304	—
計	6,044,085	824,559	6,868,644	△30,304	6,838,339
セグメント利益又は セグメント損失(△)	119,563	△33,191	86,372	—	86,372

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「合成樹脂成形関連事業」のセグメント利益が3,067千円増加し、「物流機器関連事業」のセグメント損失が752千円減少しております。